

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [豊橋中央高等学校] 担当教諭名 [高倉 嘉男] (2年A組 25名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [National Shanhua Senior High School] 担当教諭名 [Chi-Chen Wu]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	修学旅行事前準備	6
	補習	ジャパンアートマイル	20
	国語	ジャパンアートマイル	2

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Sharing Through International Collaboration Leads to Great Friendship
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	<ul style="list-style-type: none"> ・日台友好 ・地域のランドマーク、お祭り、文化を知ろう。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・台湾をよく知り、台湾人との友情を育めた。 ・外国に住む同年齢の人々とひとつの壁画を完成させたことで、達成感を味わった。 ・英語の重要性が実感できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト初期段階から生徒の自主性を引き出すこと。 ・タイム・マネージメント。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・住んでいる国は違っても、喜怒哀楽は同じということを感じ取った。 ・日本に愛情と親近感を抱いてくれる国がすぐ隣にあることを実感した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手校の担当者と個人的な友情を育んだことが、プロジェクトの成功につながったと感じた。 ・台湾の歴史や文化について学び、台湾のことが好きになった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 留学生交換(テディーベア・エクスチェンジ) ビデオ会議による地域・学校紹介 	英語が得意な生徒はしっかり英語で自己紹介をしていたが、恥ずかしがる生徒もいた。目新しい活動だったので、概ね興奮気味だった。	総合2
共有 テーマ学習	10月	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ会議による地域・学校紹介 	Skype を使ったビデオ会議も数をこなしていく内に目新しさがなくなった。相手の話す英語が聞き取りづらいという不満も聞こえた。	総合1
融合 メッセージ 壁画デザイン	11月	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ会議による壁画デザイン決定 	原案をこちらが送り、それに対応する詳細案が相手から送られてきた。それを元に黒板を使って全体案を作成し、向こうに提案した。教師が主導した。	総合1 国語1
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画制作 グリーティングカード交換 ビデオ会議によるグリーティングカード受領報告 	強化部以外の有志生徒が中心に壁画作成を始めた。午前中授業となる時期の午後を使い、短期間で一気に仕上げた。自主的に制作してくれた。	補習20 総合1 国語1
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ会議による修学旅行前交流 修学旅行での学校交流 	修学旅行前に相手と交流してお土産などの希望を聞いた。学校交流では想像を上回る歓迎を受け、どの生徒も感激していた。	総合1 修学旅行

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	外部に発信するという視点から、自分の地域の特徴を捉え直すことができたから。
異文化の理解	A	5	実際に台湾を訪れることで、台湾の文化を肌で感じることもできたから。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	5	学校交流で相手の生徒たちと英語で交流することで、英語の大切さやコミュニケーションの必要性を感じることもできたから。
情報活用能力 (情報収集・発信)	C	2	生徒が積極的に情報収集をする場面が限られていたから。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	A	5	学校交流でたくさんの友達を作ることができたから。
協働する力 (役割分担・協力)	C	4	壁画作成に参加した生徒はお互いに協力しながら作業をすることができたから。
学習を追究する意欲	C	1	狭い意味での学習という要素はほとんどなかったから。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	C	2	デザインが先に立ち、そこに何かメッセージを込めることには注力しなかったから。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	C	1	作品の鑑賞をゆっくりする時間は取れなかったから。